

指定管理者制度活用事業 評価シート(特別養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	川崎市特別養護老人ホームひらまの里	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 理事長 長谷川 忠司 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 事業実績

利用実績	①特別養護老人ホーム事業(入所定員 84人) 在籍者数 80人(平成30年3月31日現在:入院等不在者を含む)							
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計
	利用者数	2	5	30	26	15	2	80
	②通所介護事業(通所定員 35人/日) 年間延べ利用者数 4,621人 : 定員に対する稼働率 43.0%							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
延べ利用者数	332	379	373	382	421	415		
延べ利用者数	421	401	367	329	375	426		
	③短期入所事業(通所定員 16人) 年間延べ利用者数 4,563人:定員に対する稼働率78.1%							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
延べ利用者数	367	422	394	376	401	416		
延べ利用者数	440	378	385	330	277	377		
	④居宅介護支援事業 給付管理者数(平成30年3月分)							
介護度	要介護1	要介護2	要介護2	要介護4	要介護5	その他	合計	
管理者数	29	18	16	15	8	0	86	

収支実績	①特別養護老人ホーム事業 (収入)		(支出)	
	介護料収入	279,654,468	人件費	219,286,375
	利用者等利用料収入	71,351,230	事業費	61,168,317
	その他の事業収入	1,345,866	事務費	51,760,579
	合計	352,351,564	合計	332,215,271
			(収支差額)	20,136,293
	②通所介護事業 (収入)		(支出)	
	介護料収入	40,812,291	人件費	38,929,168
	利用者等利用料収入	3,062,000	事業費	7,708,314
	その他の事業収入	1,240,500	事務費	6,150,236
	合計	45,114,791	合計	52,787,718
			(収支差額)	▲ 7,672,927
	③短期入所事業 (収入)		(支出)	
	介護料収入	45,843,708	人件費	24,141,542
	利用者等利用料収入	12,152,572	事業費	9,947,786
	その他の事業収入	69,000	事務費	7,534,340
合計	58,065,280	合計	41,623,668	
		(収支差額)	16,441,612	
④居宅介護支援事業 (収入)		(支出)		
介護料収入	19,189,114	人件費	16,146,945	
利用者等利用料収入	0	事業費	0	
その他の事業収入	11,800	事務費	396,714	
合計	19,200,914	合計	16,543,659	
		(収支差額)	2,657,255	
(収入)		(支出)		
介護料収入	385,499,581	人件費	298,504,030	
利用者等利用料収入	86,565,802	事業費	78,824,417	
その他の事業収入	2,667,166	事務費	65,841,869	
合計	474,732,549	合計	443,170,316	
		(収支差額)	31,562,233	

サービス向上の取組	<p>○施設が主催する研修に新人職員が優先して参加できるよう勤務を調整したり、職員が学びたいと思っていることを学べるような研修を組んで、研修報告にもコメントを入れるなど、介護人材の育成に向けたきめ細かい配慮や職員間のコミュニケーション向上が職員のスキルアップ、モチベーションアップにつながり、結果として利用者へのサービスの向上につながる好循環を生んでいる。</p> <p>○危険予知訓練、緊急時研修、災害時訓練等の訓練を定期的を実施し、発生時に対応できる体制づくりと業務改善に努めて前年度より、全般的に事故件数を減少させた。</p> <p>○感染症対策委員会にて実技を盛り込んだ研修を定期的を実施。利用者の感染症発症はなかった。</p>
-----------	--

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点	
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	10	4	8	
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか				
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか				
	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	10	4	8	
感染症への対策は適切に行われているか						
<p>(評価の理由)</p> <p>食事内容について、日本摂食嚥下リハビリテーション学会分類基準に準じた食形態への見直しを行い、刻み食を廃止して軟素食を導入した4段階の食形態(普通食・軟素食・ソフト食・柔らかソフト食)での提供としてより細かい状態の変化に対応させている。また、「川崎市在宅療養連携ノート」の「嚥下連絡票」を活用し、食形態変更時にご家族にわかりやすく説明できるよう工夫している。</p> <p>介護相談員を受け入れ利用者のニーズ把握と質の高い介護実践に努めた。</p> <p>近隣の中学や高校からの職場体験受け入れや、夏祭りや敬老行事等では、近隣の保育園や小学校と積極的に交流。ボランティアはデイサービスと特養と併せて1,166名の参加があり地域の住民の重要な活動の場となっている。</p> <p>褥瘡対策委員会を立ち上げ、褥瘡予防についての指針及びマニュアルを整備し、改めて褥瘡予防の方法を再確認しハイリスク者の対応方法について再検討を行い、毎日の皮膚観察による早期発見・早期対応と併せて褥瘡の発生を最小限に抑えた。</p>						
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3	
		支出に見合う効果は得られているか				
		効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組は為されたか				
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	3	3	
収入増加のための具体的な取組が為されているか						
適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	4	4		
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>特別養護老人ホームでは退居者が出る前に入居判定会議を行うことを徹底している。短期入所では新規受入を増やし、緊急時の受入を可能な限り行うなどして収入確保に努めた。</p> <p>通所介護では空き情報の提供、中重度の利用者の積極的な受け入れを図り、また、中重度ケア体制加算を算定するなど、安定した施設運営に努めている。</p> <p>次年度より実施予定の会計監査人による監査の導入に備え研修会に参加し、会計事務所による予備調査を受けるなど準備を行った。予備調査において、概ね良好な評価を得た。</p>						
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取り組みがなされているか	10	4	8	
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか				
			業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	10	4	8	
意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)						
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>生活場面のそれぞれの担当がチームとしての目標を持ちサービス向上に努めている。</p> <p>緊急のショートを受け入れ、川崎市高齢者等短期入所ベッド確保事業の他、養護老人緊急一時入所事業の受け入れに対応している。</p> <p>特別養護老人ホームにおいて、入浴の他、生活場面でも個別ケアが出来る体制の確立に努めた。リハビリパンツから布パンツへの移行等、排泄介助個別ケアを実施して皮膚ケアの質の向上につなげた。</p> <p>通所介護では中重度の方を積極的に受け入れ、認知症介護実践者研修の内容を活かしたプログラムを提供している。在宅生活を長く維持できることを視野に入れた、活動性のあるメニューと静的な活動を両方提供し、利用者の積極性に繋がるような支援に努めている。</p> <p>短期入所事業ではアンケート実施により、ニーズに対応した環境整備、処遇改善を検討。具体的な対応に努めている。</p> <p>居室では、要支援の利用者や地域の高齢者に対し、指定事業者による既存のサービスと、多様な主体による多様なサービスを組み合わせたプランの提供に努めた。</p> <p>特別養護老人ホームにて余暇活動を楽しみたいという要望があったことから市が募集していた音楽療法を取り入れ実施した。照明が暗いという要望に対して平成29年度にLED化を決めるなど、細かい要望にも真摯に対応策を立て業務改善に取り組んでいる。</p>						

組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	10	4	8
		安全・安心への取組	5	4	4
	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)				
	コンプライアンス	事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か			
		実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	4	4
		個人情報の管理は適切に行われているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>特別養護老人ホームでは介護支援専門員、看護師、介護職員(約33名 介護福祉士22名)を加配している。法人が主催する研修には新人職員が優先して参加できるよう勤務を調整したり、職員が学びたいと思っていることを学べるような研修を組み、研修報告にコメントを入れるようにするなどの細かい配慮、職員間のコミュニケーション向上が職員のスキルアップ、モチベーションアップにつながり、結果として利用者へのサービス向上につながる好循環を生んでいる。また、法人が介護職員の資格手当を新設導入した。</p> <p>危険予知訓練、緊急時研修、災害時訓練等の訓練を定期的に行い、発生時に対応できる体制づくりに努めている。事故防止委員会を月に1回開き、改めて1ヶ月の間に起きた事故について検証し再発防止について再確認し、その内容を各係会議にフィードバックし利用者支援の変更や事故を起こしにくい環境づくりに繋げている。その他、事故後も都度対策を講じて、再発防止に努めている。</p> <p>「身体拘束についての取り扱い要領」や「高齢者虐待防止マニュアル」「個人情報保護に対する基本指針」「就業に関する各種規程」、介護保険関係の「運営の手引き」等を整備。関係通知のチェック、川崎市指定介護保険事業者集団指導講習会の内容と併せて必要な情報を職員間で共有し、毎月加算要件が満たされているかどうかの確認も実施。</p> <p>新規採用時には「コンプライアンスチェックノート」を活用し、必ず法令遵守についての研修を実施している。</p>					
適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	3	6
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	<p>(評価の理由)</p> <p>業務日誌・点検記録修繕履歴等が適切に整備・保管している。</p> <p>施設内及び外構の清掃は、委託業者やボランティアの協力も得ながら定期的に整備を行っている。</p> <p>委託した警備会社の有人警備により、夜間・休日の警備を行い、夜間帯は施設内を4回・敷地内の巡回を2回行い火災予防、盗難防止を含め安全確保に努めている。</p> <p>外構の植栽は、労務補助職員により大規模な剪定を年2回行い、小規模な剪定、草刈、害虫駆除は日常的に実施。</p> <p>施設備品の廃棄・修理、消耗品の補充についても引き続き法人ルール、施設ルールに沿って適宜対応している。</p>				

4. 総合評価

評価点合計	76	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

研修会への参加や、情報収集を積極的に行う姿勢から幅広い情報の共有・提供を心がけている。ケア方法や使用器具などの改善、体制づくりと、業務を改善し、利用者に留まらず、職員の職場環境も改善できるように心がけ実施している。継続して、法人全体の方針として目標管理制度を導入し、職員それぞれが担う業務と、職員各個人のスキルについてPDCAサイクルに則った業務改善に努めている。このような取組が利用者へのさらなるサービス向上につながることを期待する。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

指導事項等なし